



Minebea

ミネベア株式会社決算説明会
2005年3月期中間期決算

2004 (平成16)年 11月12日

代表取締役 社長執行役員 山本 次男

2005年3月期中間期 連結業績

(百万円)	2004/3期	2005/3期	伸び率	上期計画	
	上期	上期	前年同期比	期初計画	計画比
売上高	133,741	146,751	+9.7%	144,400	101.6%
営業利益	9,467	5,468	-42.2%	8,400	65.1%
経常利益	7,558	3,885	-48.6%	6,300	61.7%
税引前利益	6,299	3,391	-46.2%	5,700	59.5%
純利益	2,726	1,095	-59.8%	3,000	36.5%

上期はスピンドルモーター、MMMC、キーボードの3事業の損益悪化により、減益

第2四半期 業績

(百万円)	2004/3期	----- 2005/3期 -----		2Q 伸び率	
	2Q	1Q	2Q	前年同期比	前四半期比
売上高	67,252	71,324	75,427	+12.2%	+5.8%
営業利益	5,208	2,802	2,666	-48.8%	-4.9%
経常利益	4,273	1,982	1,903	-55.5%	-4.0%
税引前利益	4,122	1,937	1,454	-64.7%	-24.9%
純利益	2,305	208	887	-61.5%	+326.4%

MMMCロイヤリティ計上により減益だが、2Qの利益は実質1Qより改善

中間期業績特殊要因

ミネベア・松下モータ合弁事業(MMMC)

期初以降の事業実績と期初事業計画に大幅な乖離

差異の要因： 移管製品販売単価の急落及び需要落ち込み。
統合費用の増加。

第1四半期中からMMMCの両親会社に対するロイヤリティ支払いを含む事業全般の見直しに着手。現在、検討を引き続き行っているが、まだ結論に達していないため、当初契約どおりのロイヤリティを中間期に計上。ミネベア連結損益への影響額はマイナス13億円。下期業績の修正予想は、影響額マイナス14億円を含む。ただし、当期純利益への影響は当社持分60%のみ。

中間期 セグメント別収益

(百万円)	--- 2004/3期 ---		2005/3期	伸び率 前年同期比
	上期	下期	上期	
(売上高)				
機械加工品	55,665	56,027	57,350	+3.0%
ベアリング関連製品	47,128	47,476	49,153	+4.3%
その他機械加工品	8,538	8,551	8,197	-4.0%
電子機器	78,076	78,805	89,400	+14.5%
回転機器	43,642	43,099	54,061	+23.9%
その他電子機器	34,435	35,706	35,340	+2.6%
合計	133,741	134,833	146,751	+9.7%
(営業利益)				
機械加工品	9,178	10,327	10,478	+14.2%
電子機器	289	1,689	5,010	-
合計	9,467	8,637	5,468	-42.2%

上期売上高内訳

(億円)	期初 計画	実績 対計画
ベアリング関連製品	482.0	102%
その他機械加工品	82.0	100%
回転機器	589.5	92%
その他電子機器	290.5	122%

上期営業利益内訳

(億円)	期初 計画	8月時 見込	実績
機械加工品	97	約104	105
電子機器	13	33	50
3事業	14	38	59
3事業以外	1	5	9
合計	84	約71	55

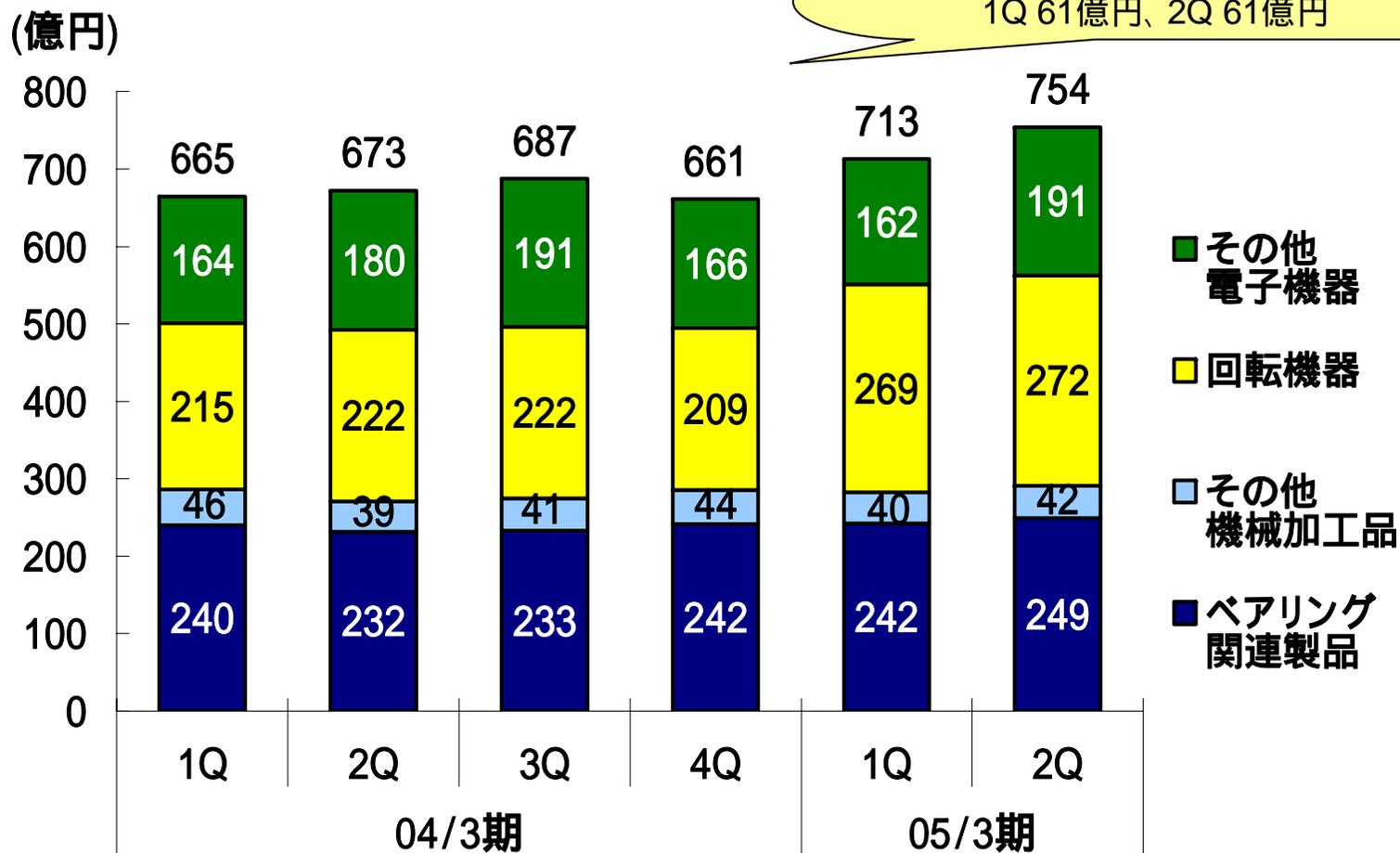
電子機器3事業実績はロイヤリティ
支払い13億円を含む

第2四半期 セグメント別収益

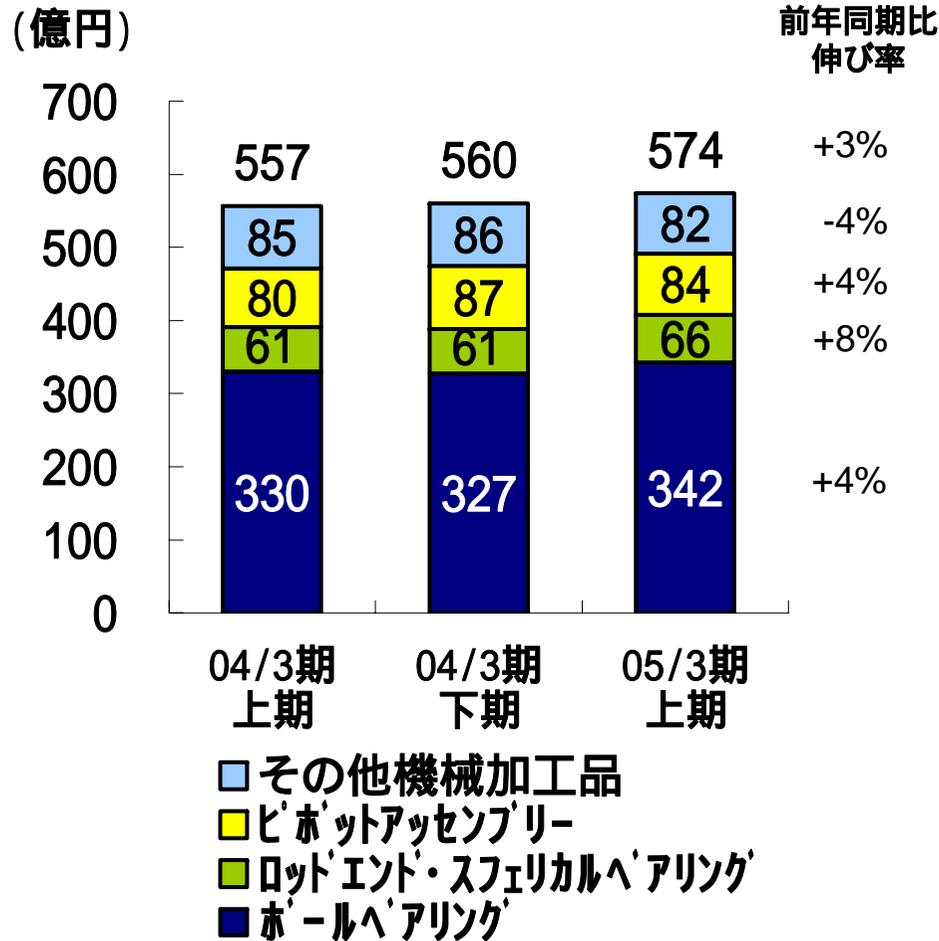
(百万円)	----- 2004/3期 -----				--- 2005/3期 ---		2Q 伸び率	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前年同期比	前四半期比
(売上高)								
機械加工品	28,606	27,059	27,434	28,593	28,256	29,094	+7.5%	+3.0%
ベアリング関連製品	23,959	23,169	23,324	24,152	24,247	24,906	+7.5%	+2.7%
その他機械加工品	4,646	3,892	4,109	4,442	4,009	4,188	+7.6%	+4.5%
電子機器								
電子機器	37,883	40,193	41,294	37,511	43,067	46,333	+15.3%	+7.6%
回転機器	21,458	22,184	22,209	20,890	26,852	27,209	+22.7%	+1.3%
その他電子機器	16,424	18,011	19,084	16,622	16,216	19,124	+6.2%	+17.9%
合計	66,489	67,252	68,728	66,105	71,324	75,427	+12.2%	+5.8%
(営業利益)								
機械加工品	4,908	4,270	5,035	5,292	5,082	5,396	+26.4%	+6.2%
電子機器	648	937	503	1,186	2,279	2,731	-	-
合計	4,259	5,208	4,531	4,106	2,802	2,666	-48.8%	-4.9%

セグメント別売上高推移

各部門においてビジネスが拡大
 ミネベア・松下モータ合弁事業の設立に伴う
 回転機器部門売上高への上乗せ
 1Q 61億円、2Q 61億円



機械加工品セグメント 売上高



ボールベアリング

- 拡販政策の成果により、販売を拡大。上期の販売単価は安定して推移。

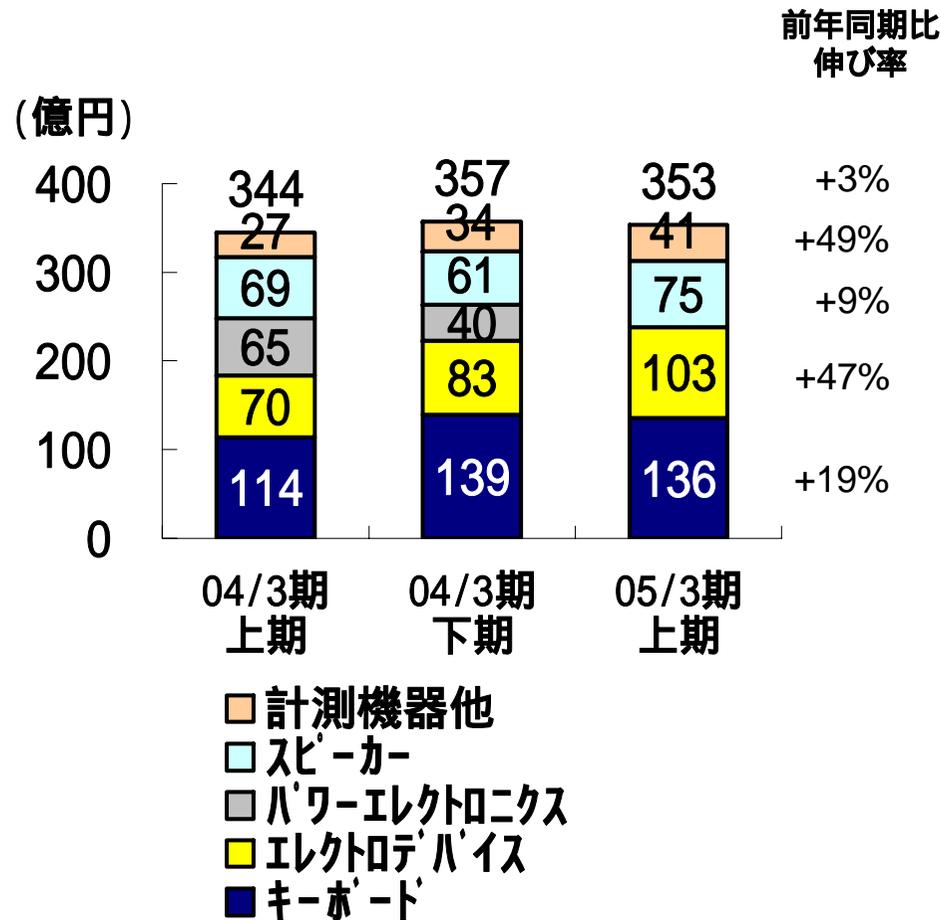
ロッドエンド&スフェリカルベアリング

- 航空機需要に回復の兆し。売上高は昨年度下期を底に増加。

ピボットアッセンブリー

- 7月からHDD生産が急回復。シェア拡大もあり、ピボットアッセンブリーの販売は過去最高。

電子機器セグメントその他電子機器 売上高



キーボード

- 新規ビジネス獲得により、売上高が拡大。

エレクトロデバイス

- ライティングデバイスの売上高が拡大。新規ビジネスを受注。

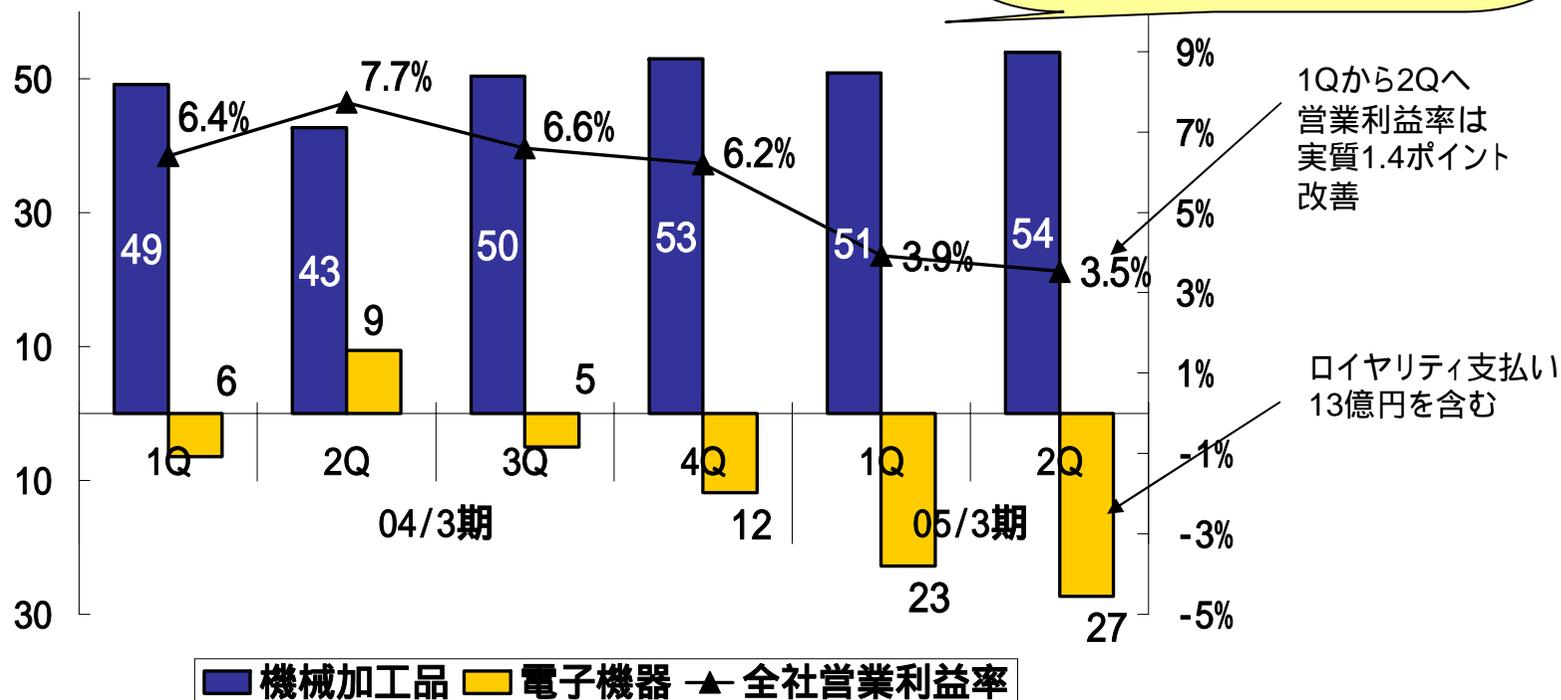
スピーカー

- 上期はホームシアター用ボックススピーカーが好調。

セグメント別営業利益推移

機械加工品セグメントは
順調に収益性UP
電子機器セグメントは、2Qは
ロイヤリティ支払い13億円を含む、
実質は1Qより改善

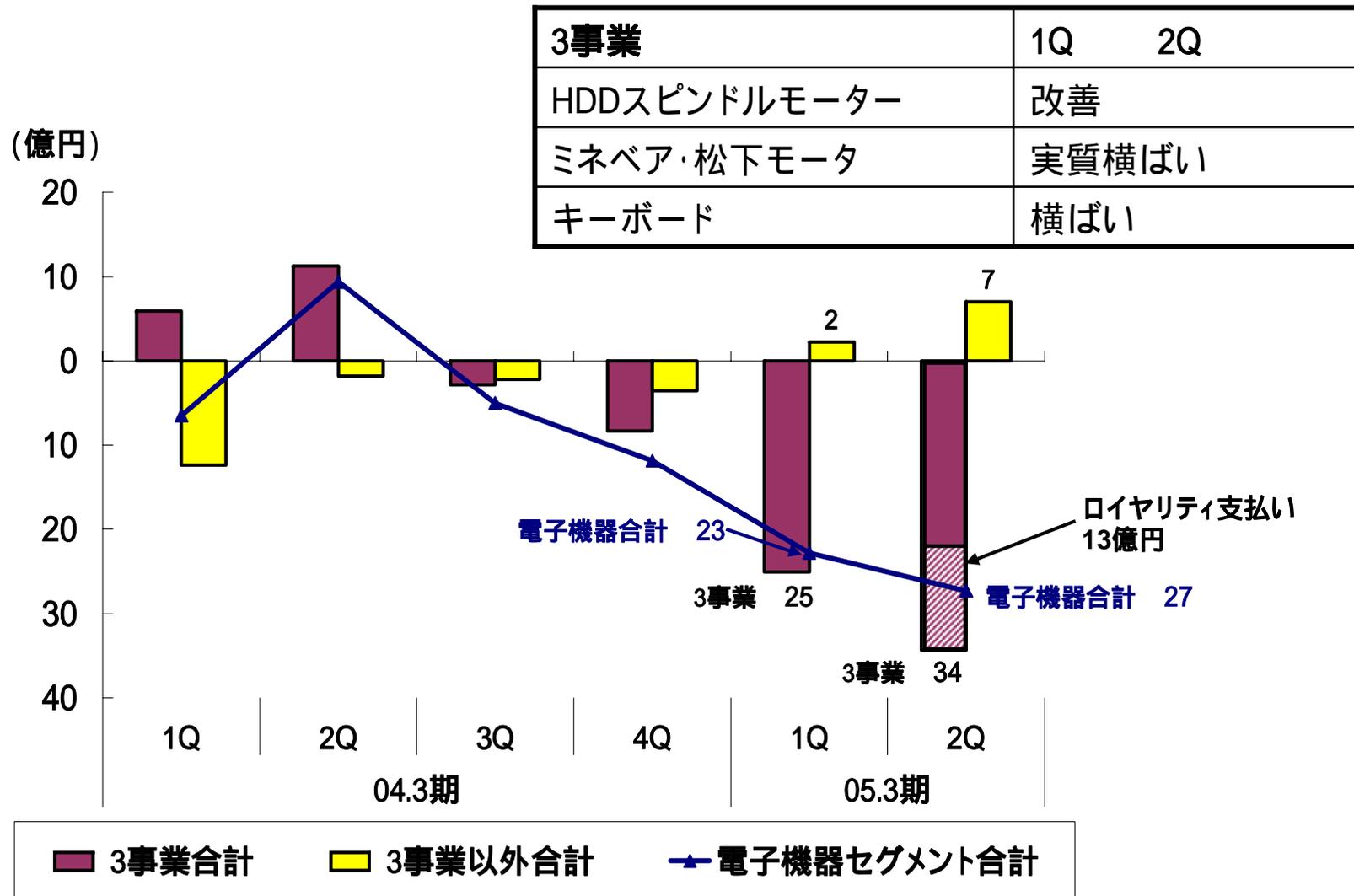
(億円)



営業利益率

	04/3期				05/3期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
機械加工品	17.2%	15.8%	18.4%	18.5%	18.0%	18.5%
電子機器	-1.7%	2.3%	-1.2%	-3.2%	-5.3%	-5.9%
全社	6.4%	7.7%	6.6%	6.2%	3.9%	3.5%

電子機器セグメント営業損益内訳

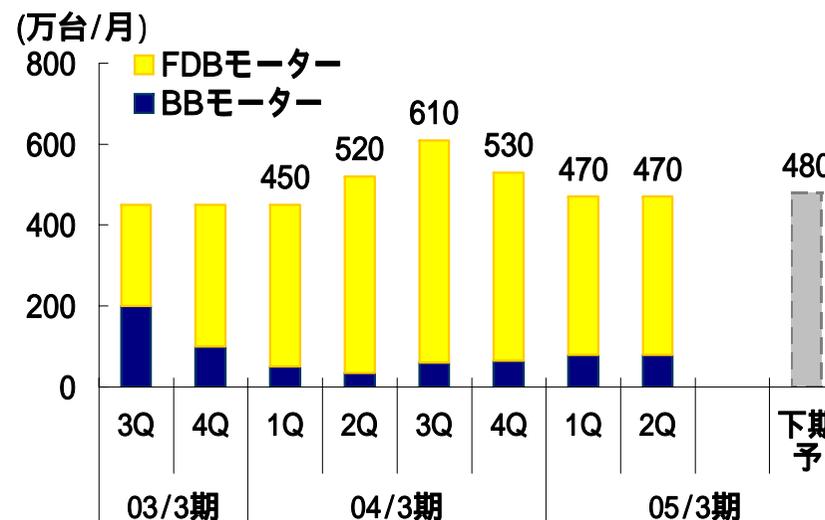


HDDスピンドルモーター

◆ 新製品承認活動

ROF 客先にて評価中。
2.5" FDB 客先にて評価中。

HDDスピンドルモーター販売数量推移・見込み



日本電産株式会社と特許訴訟で和解が成立

- 当社は日本と米国で係属中の二つの訴訟を取り下げ。両社が所有する特許権等につきクロスライセンス契約を締結予定。
- 裁判に要する時間や負担を軽減し、新製品開発と販売活動の面でメリット大と判断。
- 日本電産との他製品の取引増加の可能性。

ミネベア・松下モータ合弁事業

黒字化を目指して構造改革を実施

◆ 製造統合

- 生産移管の推進、生産拠点機能の見直し
- 源泉部品生産及び外注生産の体制見直し
- 生産性向上を中心に合理化の徹底実施

◆ 拡販 **NMB-MAT**

- ファンのシェア引き上げ、スリーブタイプ及び家電向けの拡販
- ハイブリッド及びPM新シリーズの販売拡大
- 振動モーター及びブラシ付DCモーターの拡販

◆ ロイヤリティを含めた事業の見直し

- 現在、検討中

キーボード

上期

◆ 生産販売数量を拡大。

デスク向け顧客層を拡大。上期の販売数量は前年同期比2割増。

ノート向けビジネスを拡大。上期の販売数量は前年同期比4割増。

◆ 上海への生産移管を実施。

9月までにデスクの3/4を移管完了。

受注増加による二重構造の長期化。

下期

◆ 拡販を継続。

下期も、デスクトップ及びノートの新規ビジネスの開拓を進める。

◆ SSTの生産性向上に注力。

早期の移管完了へ向けて。

製造原価の低減。

原材料価格高騰への対応。

下期の3事業損益見込み

営業損益

(億円)	上期	下期	通期
3事業合計	59	41	100
3事業以外	9	11	20
電子機器合計	50	30	80

3事業内訳

	上期	下期
HDDスピンドルモーター	10億円改善	
ミネベア松下モータ	5億円改善	
キーボード	3億円改善	

ボールベアリング

◆ 生産販売を拡大

上期の販売数量は、前年同期比17%増。社内使用も含めた販売は前年同期比15%増。下期は月1億8,000万個へ。

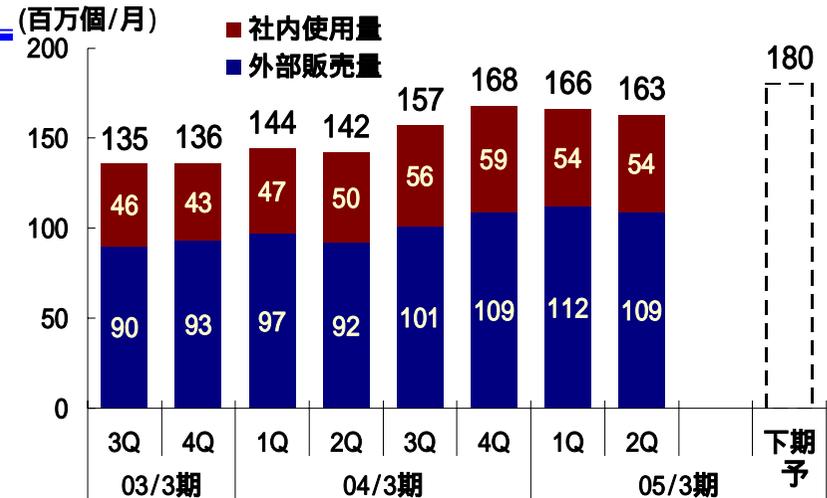
◆ 原価低減を推進

原価低減施策を継続。

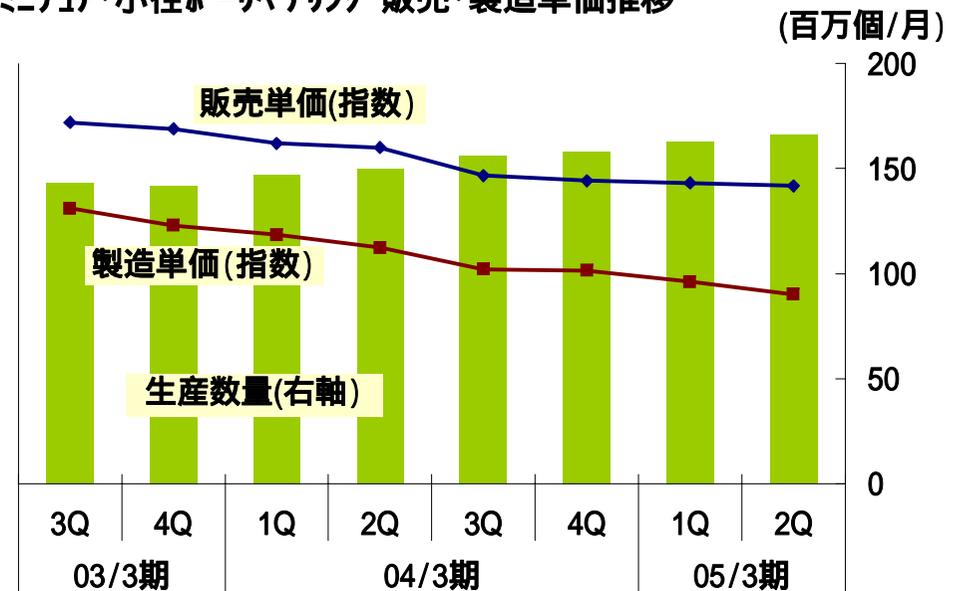
ピボットアッセンブリー増産

- ピボットアッセンブリー用のボールベアリングを増産。小型HDD用の販売が急拡大。
- 原材料価格高騰の影響を吸収して、収益性改善。

ミニチュア・小径ボールベアリング 販売数量推移



ミニチュア・小径ボールベアリング 販売・製造単価推移



第2四半期 用途別売上高・地域別売上高

用途別売上高

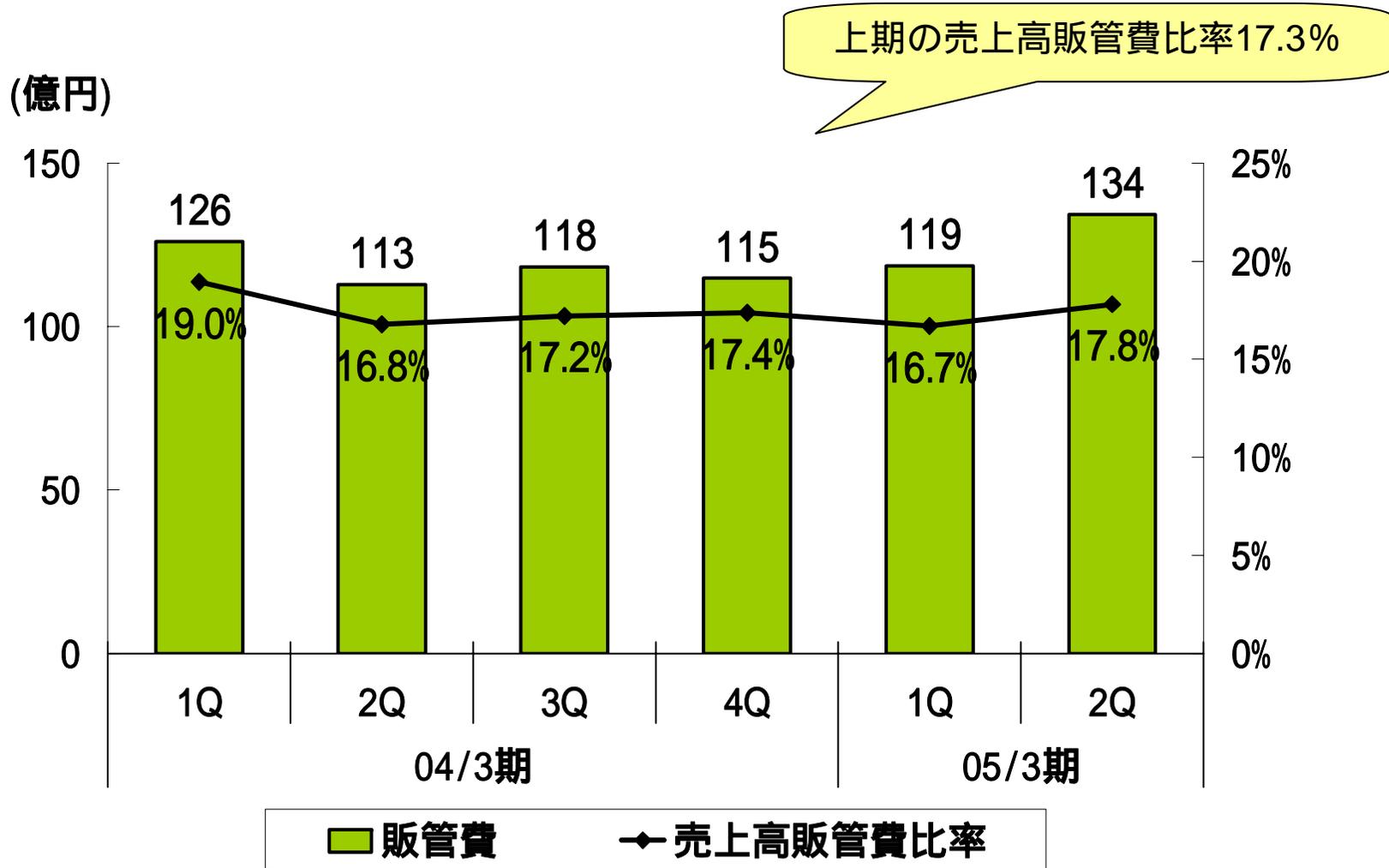
	自動車	航空・宇宙	家電機器	情報通信機器(OA)	PC及び周辺機器	モータ	その他	合計
売上高比率	10.5%	8.2%	10.4%	15.5%	38.0%	4.9%	12.5%	100.0%
前四半期比 伸び率 (1Q比)	+9.7%	+4.7%	-11.6%	+1.3%	+11.5%	-0.2%	+12.7%	+5.8%
前年同期比 伸び率 (前年度2Q比)	+53.9%	+6.4%	+19.6%	+62.4%	-6.7%	-1.3%	+17.1%	+12.2%

地域別売上高

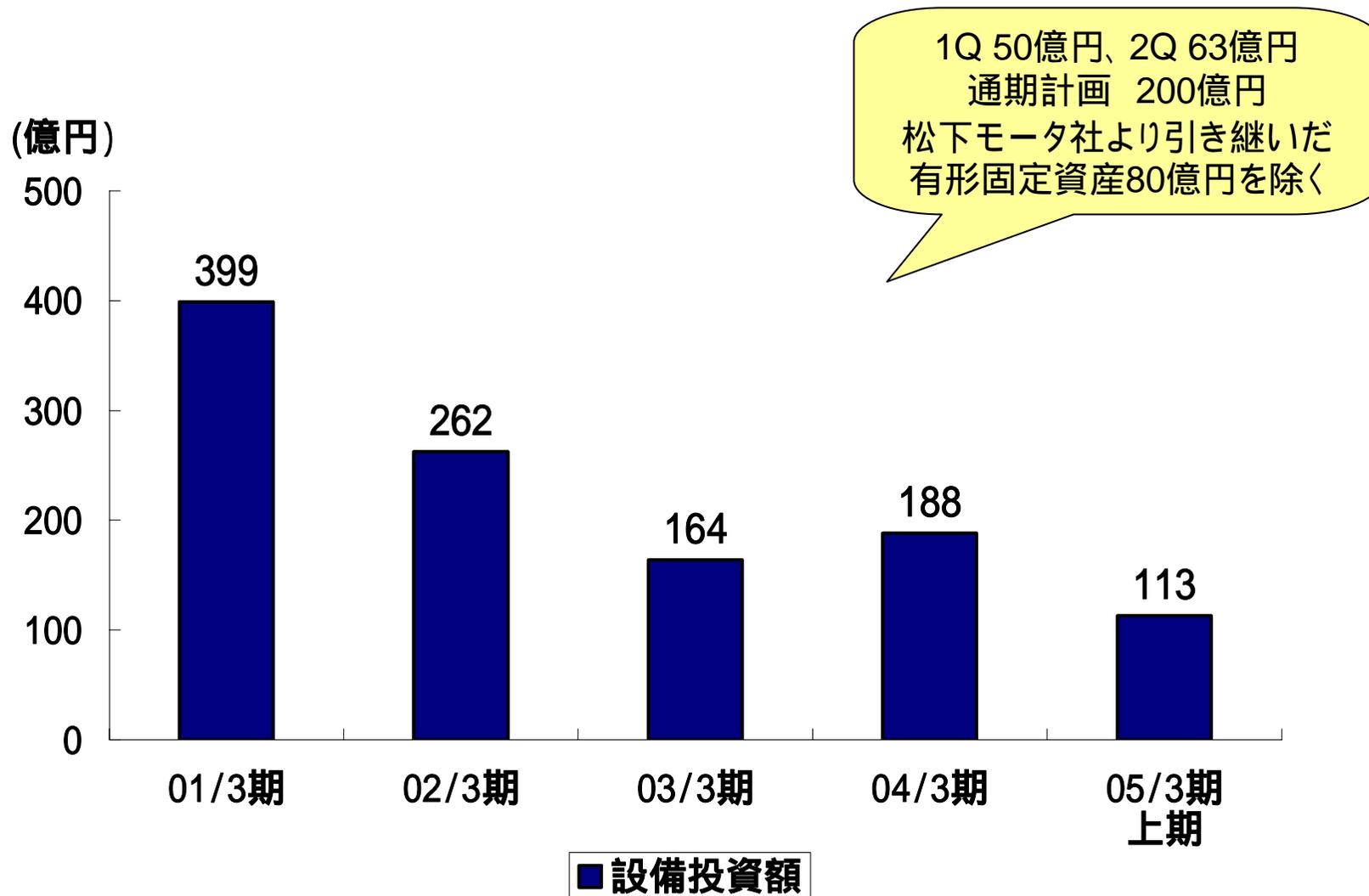
	日本	アジア (除 日本)	北米・ 南米	欧州	合計
売上高比率	26.6%	47.1%	16.8%	9.5%	100.0%
前四半期比 伸び率 (1Q比)	+3.5%	+5.3%	+15.4%	-1.0%	+5.8%
前年同期比 伸び率 (前年度2Q比)	+22.4%	+12.4%	+10.8%	-8.5%	+12.2%

中華圏売上高は
現地通貨ベース
で前年比30%増、
前四半期比5%増。

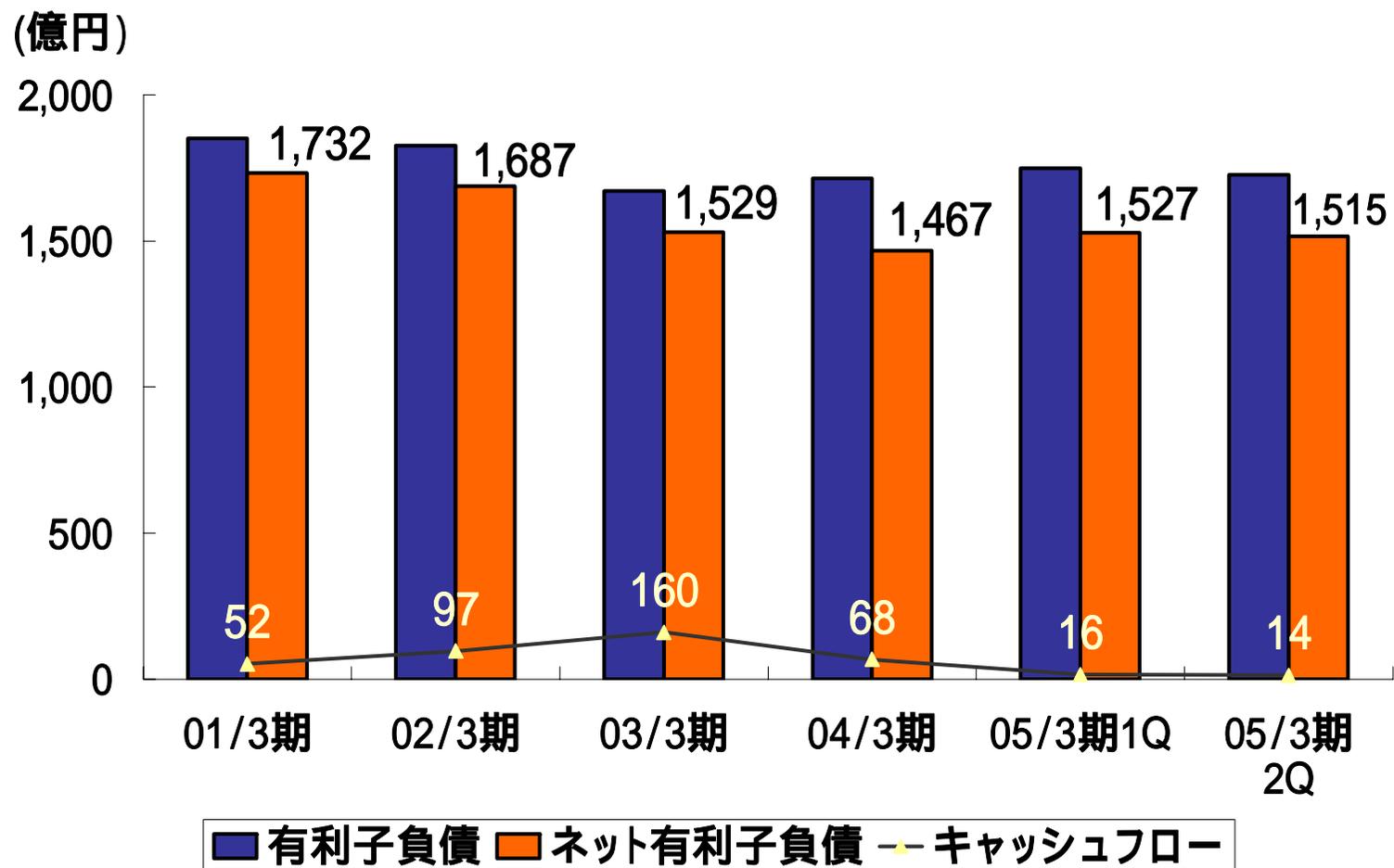
販管費



設備投資額



有利子負債



2005年3月期通期 業績予想

(百万円)	2004/3期	----- 2005/3期 -----		通期	通期計画		
	通期	上期実績	下期予想	通期予想	前年比伸び率	従来予想	従来比
売上高	268,574	146,751	153,249	300,000	+11.7%	300,000	100.0%
営業利益	18,104	5,468	8,532	14,000	-22.7%	20,000	70.0%
経常利益	13,800	3,885	6,115	10,000	-27.5%	15,500	64.5%
税引前利益	12,958	3,391	5,609	9,000	-30.5%	14,500	62.1%
純利益	6,019	1,095	3,905	5,000	-16.9%	9,000	55.6%

通期 セグメント別収益予想

(百万円)	2004/3期	----- 2005/3期 -----		通期 前年比 伸び率	通期計画	
	通期	上期実績	下期予想		通期予想	従来予想
(売上高)						
機械加工品	111,692	57,350	60,650	118,000	+5.6%	114,000 103.5%
ベアリング関連製品	94,604	49,153	51,047	100,200	+5.9%	96,800 103.5%
その他機械加工品	17,089	8,197	9,603	17,800	+4.2%	17,200 103.5%
電子機器	156,881	89,400	92,600	182,000	+16.0%	186,000 97.8%
回転機器	86,741	54,061	56,239	110,300	+27.2%	123,600 89.2%
その他電子機器	70,141	35,340	36,360	71,700	+2.2%	62,400 114.9%
合計	268,574	146,751	153,249	300,000	+11.7%	300,000 100.0%
(営業利益)						
機械加工品	19,505	10,478	11,522	22,000	+12.8%	19,500 112.8%
電子機器	1,400	5,010	2,990	8,000	-	500 -
合計	18,104	5,468	8,532	14,000	-22.7%	20,000 70.0%

ミネベア株式会社決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。